

労働保険事務組合のみなさまへ

「保険料・一般拠出金申告書内訳」の電子媒体での提出が可能です。

電子媒体を提出した場合には、報奨金(電子化分)が交付されます(注)。

年度更新の手続きにおいて、労働保険事務組合(以下「事務組合」という。)より都道府県労働局へ紙媒体で提出いただいている「保険料・一般拠出金申告書内訳」(以下「申告書内訳」という。)については、電子媒体での提出が可能となっています。

電子媒体で提出する場合は、厚生労働省HP内の「労働局適用徴収業務支援システムの仕様公開について」において公開している「インタフェース仕様書」(※)に沿った電子ファイルを、DVD又はCDへ保存し、紙媒体と一緒に都道府県労働局へ提出願います。

※ インタフェース仕様書とは、システム間でデータのやり取りを行うための保存形式について記載されたものです。

(注)前年度における常時労働者15人以下の委託事業場1件につき460円の交付となります。

「労働局適用徴収業務支援システムの仕様公開について」掲載場所



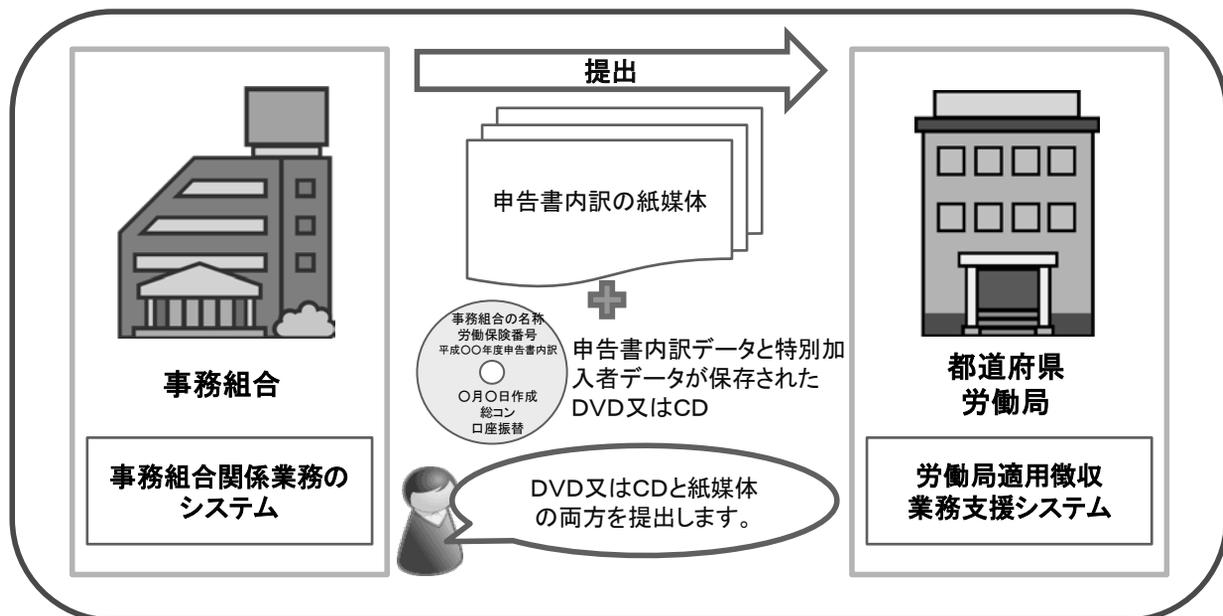
検索する場合:厚生労働省HPのトップページの右上の検索欄に「労働局△仕様公開」と入力し、検索してください(△は全角スペースを表しています)。



アドレスを直接入力する場合

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/hoken/shiyou_koukai/)

申告書内訳のDVD又はCDでの提出概要は、以下のとおりです。



労働保険事務組合のみなさまへ



Q&A

Q1	労働局適用徴収業務支援システムとは。
A1	「労働局適用徴収業務支援システム」とは、都道府県労働局において、事務組合から提出される申告書内訳等の受付、審査等の業務処理を支援するシステムです。
Q2	仕様公開の対象は何か。
A2	仕様公開の対象は、申告書内訳情報と第1種特別加入者情報です。
Q3	DVD又はCDでの提出にあたって注意する点は何か。
A3	提出されたDVD又はCDは返却いたしません。 DVD又はCDのラベルには、「事務組合の名称、労働保険番号(枝番号は不要)、平成〇〇年度申告書内訳、作成日付、総コン(総コンシステムから出力した場合)、口座振替(口座振替を行っている場合)」と記載してください。 なお、ウイルス対策ソフト等で事前にウイルスのチェックを行ってから提出ください。
Q4	DVD又はCDのみでの提出が可能になるのか。
A4	DVD又はCDと紙媒体の両方を、 原則として年度更新期間(毎年6月1日～7月10日)内に提出 してください。期限内であれば、別々の提出でもかまいません。なお、データの読込エラー等があった場合には、事務組合で修正のうえ再提出をお願いする場合があります。
Q5	DVD又はCDの種類は何か。
A5	DVDはDVD-R、DVD+R、DVD-RW、DVD+RW、CDはCD-R、CD-RWを使用してください。なお、提出された媒体は返却しません。当局で嚴重に廃棄処理します。
Q6	事務組合設立時、増減額訂正時に作成する申告書内訳についても、DVD又はCDでの提出が可能になるのか。
A6	DVD又はCDでの提出は、年度更新時に作成する申告書内訳のみを対象としているので、年度更新時以外の申告については紙媒体で提出をお願いします。
Q7	「労働保険事務組合総合コンピュータシステム」(通称「総コンシステム」)を活用して、作成した申告書内訳の電子ファイルは対応しているか。
A7	総コンシステムの中の「データ管理メニュー」にある「年更マスターデータ出力」ボタンを押下して出力した電子ファイルについては対応しています。これ以外の方法で出力する場合は、仕様公開している インターフェイス仕様書に沿った形 で提出してください。
Q8	問い合わせ先はどこか。
A8	申告書内訳の提出に関しては、山梨労働局労働保険徴収室をお願いします。 インターフェイス仕様書の内容に関する問い合わせは、厚生労働省(労働保険徴収業務室業務第1係:03-3920-3311 内線404、405)をお願いします。